

課程博士の学位授与申請に係わる審査報告書

学籍番号 15DC1609
氏名（本籍） 袁 鑫（中国）
学位の種類 博士（中国研究）
報告番号 甲第133号
学位授与年月日 2024（令和6）年3月20日
学位授与の要件 学位規則第4条第1項該当
論文題目 当代中国社会转型时期国民政治认同问题研究

審査委員
主査 唐 燕霞
副査 金 湛
副査 黄 英哲



2024（令和6）年1月23日
愛知大学大学院中国研究科

審査の結果の要旨

本学中国研究科委員会の決定に基づいて、袁鑫より提出された課程博士の学位申請論文、学位授与申請書および参考関連論文等関係資料により、2023年10月18日に予備審査を行った。「大学院博士の学位授与に関する内規」第7条の定めにより、以下の2項目について、審査委員の意見交換を行った。

(1) 学位申請論文の予備審査および履歴事項、研究歴、業績目録について、十分評価できるという結論に至った。

(2) 外国語についての試問は不要であるという結論に至った。

予備審査の結果、博士学位論文の基本的要件を満たしており、学位授与申請の受理を可とし、本審査への移行を可とする。

2024年1月25日14:00~16:00、名古屋校舎本館M406教室にて遠隔教学システムを使って、学位申請論文の本審査を順調に行った。

まず、袁鑫より、学位申請論文の趣旨、問題意識、先行研究、研究目的、依拠した資料・データ、実施したアンケート調査及び論文の構成、本研究の学術的貢献などについて、説明がなされた。次に、審査委員による口頭試問に移り、質疑応答を行った。すべての質問に対し、袁鑫より回答や説明がなされ、それらの答弁はいずれも審査委員全員を概ね納得させるものであった。

口頭試問が終了し、袁鑫が退席した後、引き続き審査委員会において議論を重ね、以下の結論に至った。

本論文では、中国の社会転換期における国民の政治的アイデンティティの問題を研究対象に、国家政治体系における民意の基礎、執政党の社会凝集力と政治的動員の力を考察し、国家の政治的安定と政策決定に関する一連の理論的問題と現実的問題を分析した。

本論文では、国内外の先行研究を大量にサーベイした上で、独自の理論的枠組みを構築した。政治的アイデンティティの形成過程における主体、客体及び影響要素の三者関係を巡って、政治的アイデンティティの分析枠組みと主な内容を検討し、政治的アイデンティティを体制的アイデンティティ、政党的アイデンティティ、身分的アイデンティティ、文化的アイデンティティ、政策的アイデンティティと発展的アイデンティティという六つの相互関連の側面に分かれて解析した。さらに、著者が参加した南開大学の研究プロジェクトで全国16の省、自治区と直轄市の6581人を対象に実施したアンケート調査の結果に基づいて、上記の六つの側面から国民の政治的アイデンティティの現状を分析し、いかに国民の政治的アイデンティティを高めるかについて理論的分析を行った。

本論文は三つの部分から構成される。第一部分は序章、第1章と第2章から構成される。主として、現代中国の政治的アイデンティティ問題に関する研究の社会的背景、政治的アイデンティティの概念と理論的基礎、及び分析枠組みを検討した。まず、社会転換期の特徴を分析し、計画経済体制から市場経済体制への転換期において、中国の社会構造が大きく変容し、益々多様化した特徴は政治的アイデンティティ問題の研究にとって極めて重要であると指摘した。次に、政治的アイデンティティの概念を検討し、政治的アイデンティティとは、政治生活において、政治的アイデンティティの主体（公民と団体組織）が客体（公民個人の政治的身分、政治体系における政治権力、政治的価値、政治制度、政治的道具、政治的機能などの要素）に対して生み出した心理的認知、感情的傾向であり、政治生活において具体的な支持行動へと転換する過程であると主張した。さらに、上述の六つの側面から政治的アイデンティティの分析枠組みを構築した。

第二部分は即ち第3章であり、袁鑫が参加した南開大学の2016年に行われた中国公民の政治文

化に対するアンケート調査の結果に基づいて、体制的アイデンティティ、政党的アイデンティティ、身分的アイデンティティ、文化的アイデンティティ、政策的アイデンティティと発展的アイデンティティという六つの側面から中国国民の政治的アイデンティティの現状に対してデータの解析をし、中国国民の政治的アイデンティティの基本的特徴と存在している問題を考察した。

第三部分は第4章から第9章より構成され、上記の調査報告が提示した六つの側面から政治的アイデンティティに対して理論的検討を行い、それぞれのアイデンティティをいかに高めるかについて政策的提言を行った。

本論文の評価できる点として、以下の4点が挙げられる。

第一に、本論文は国内外の先行研究を丹念にサーベイした上で独創的な理論的枠組みを構築した。体制的アイデンティティ、政党的アイデンティティ、身分的アイデンティティ、文化的アイデンティティ、政策的アイデンティティと発展的アイデンティティという六つの側面から中国国民の政治的アイデンティティの現状を分析することは斬新性があり、多大な学術的貢献をなすものである。

第二に、本論文では、文章は滑らかで、構造は明確で、見解は明晰で、議論はしっかりしている。政治的アイデンティティの概念を明確化した後、合理的選択理論、政治文化論と社会関係資本理論などの理論を結びつけて、政治社会学のアプローチから政治的アイデンティティの変化や影響要素などに対して包括的分析を行った。

第三に、袁鑫が参加した南開大学の研究プロジェクトで実施したアンケート調査は、全国16の省、自治区、直轄市を網羅し、調査対象は6581人に及ぶ。標本数が豊富で、男女比率も妥当で、調査対象者は農民、労働者、工商業従事者、個人経営者、フリーランス、専門技術者、公務員、学生、定年退職者など様々な分野の人が含まれている。本論文は信頼性の高い一次資料を収集し、理論研究と実証研究をうまく結びつけて理路整然と論じたため、説得力の高い論文だと言える。

第四に、研究課題の設定は新規性を持っている。市場経済移行期の中国では、社会構造が多様化し、細分化した社会階層間の利益対立の問題も表面化し、国民の政治的アイデンティティに大きな影響を与えており、社会転換期の国民の政治的アイデンティティに関する本研究は重要な意義を持っている。さらに、政治的アイデンティティの課題は政治制度や政党統治などに関わる大きな問題であり、共産党一党支配の中国においてこの課題を研究することは挑戦的で、一定の勇気が必要であろう。本論文は共産党支配の正統性などの問題についても真正面から論じており、いかに共産党の腐敗を防ぐかについて政策的提言を行った。

一方で、審査委員からいくつかの改善点も指摘した。第一に、せっかく大量のデータを収集したので、各社会階層間のアイデンティティの違いなどを分析すれば、より深みのある議論が展開できるのではないかと。第二に、TikTok、小紅書、Weiboなどのニューメディアは現代中国の世論伝播や国民の政治的アイデンティティの形成に大きな影響力を持っており、今後の研究では、国民の政治的アイデンティティに対するニューメディアの影響を考慮すると良からう。

以上を踏まえて、審査委員会において、全員一致で袁鑫論文は、中国の政治的アイデンティティに関する重要かつ斬新性のある研究成果であることを認め、愛知大学大学院の博士学位授与論文の諸規定に定められた諸要件を満たしているという結論に至った。

以上